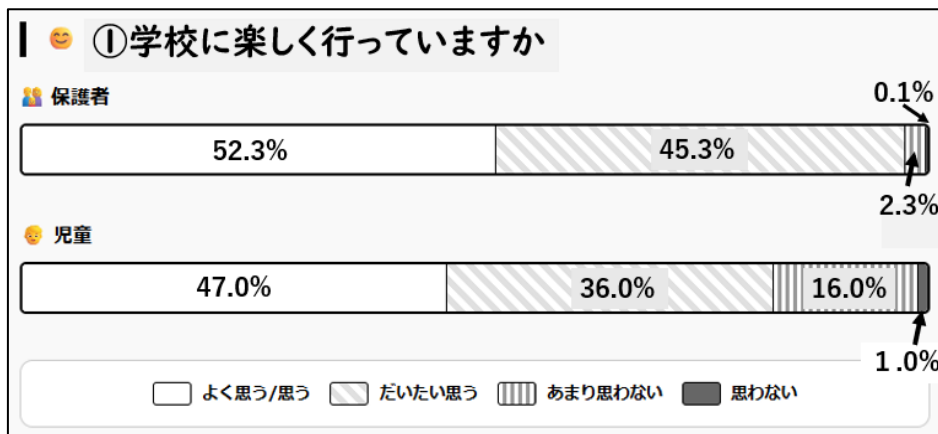


## 令和7年度 学校評価アンケート報告

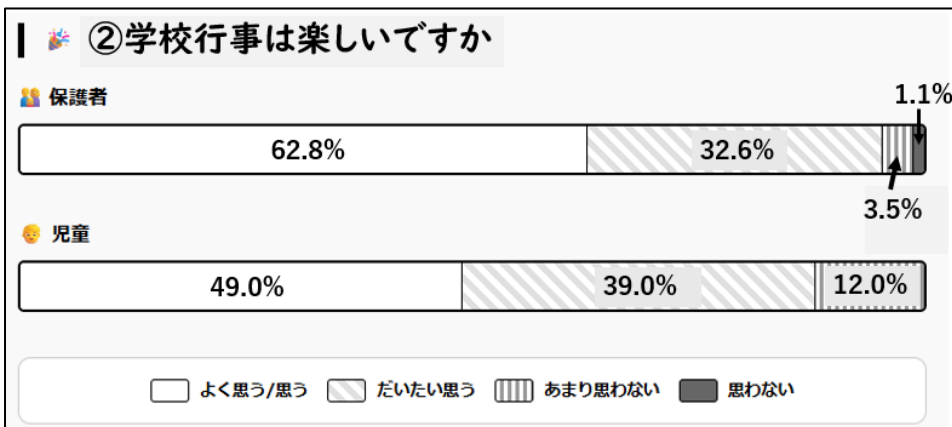
日頃から本校の教育活動に、深いご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、本年度実施いたしました学校評価アンケートでは、多くの保護者の方からご回答いただきました。また、貴重なご意見もたくさんいただきありがとうございました。

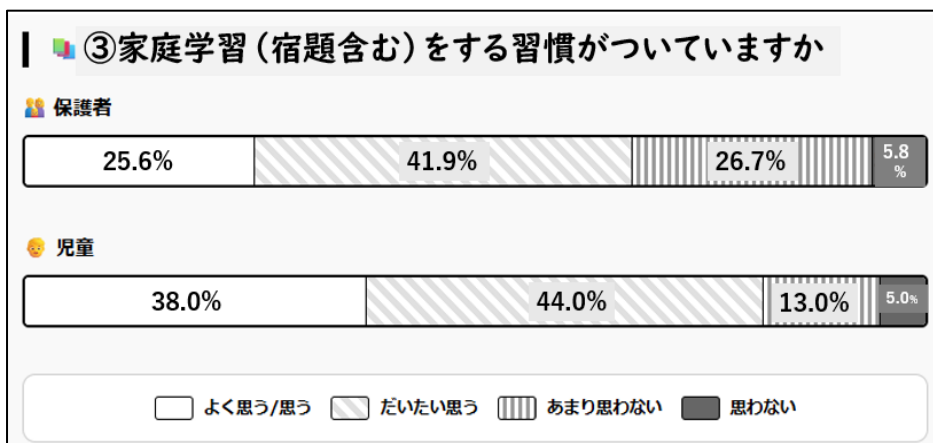
回答の結果や保護者の方々からのご意見を参考にさせていただきながら、よりよい学校づくりに向けて取り組んでいきます。



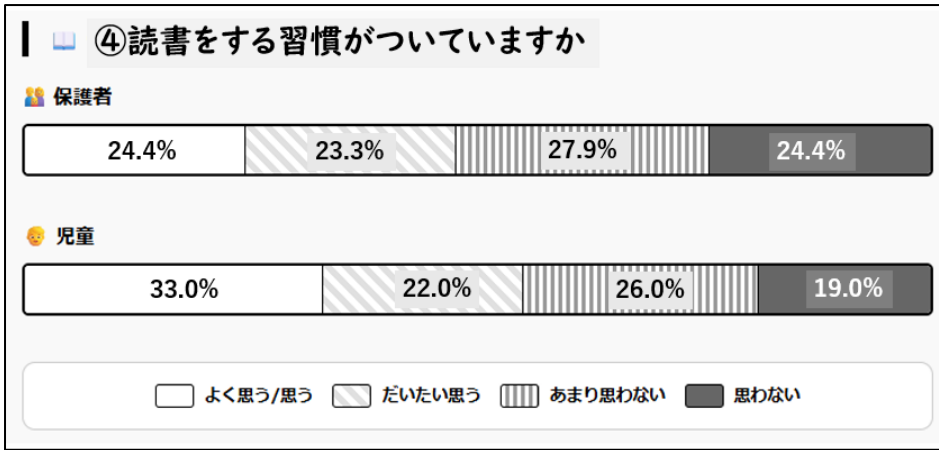
「よく思う」「だいたい思う」が保護者は97.6%です。児童は83.0%で、両者に若干のギャップがありますが、児童の「あまり思わない」の回答は、その日にあったことや最近あったことなどがかなり影響することがあるので、大まかな傾向はほぼ同じだと考えられます。1.0%の児童が「思わない」と回答していることを踏まえて、今後も児童の声に耳を傾け、楽しいと思える学校生活になるようより一層工夫していきます。



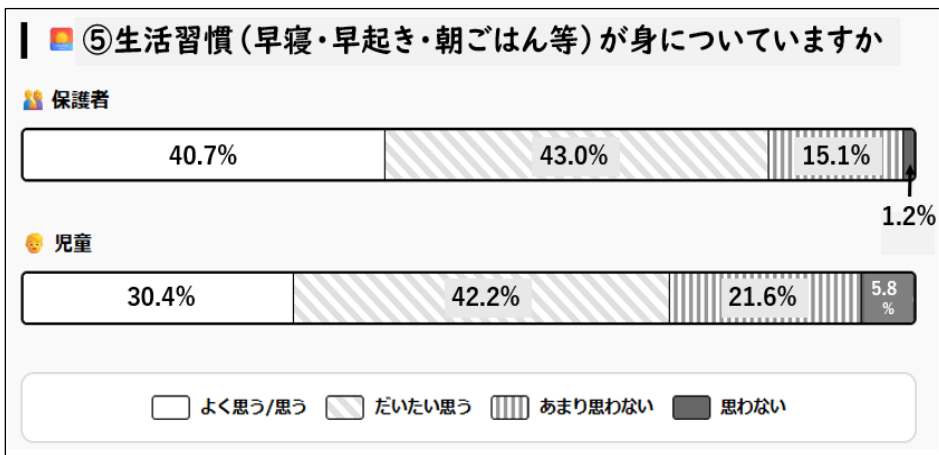
「よく思う・だいたい思う」と、95.4%以上の保護者、88.0%の児童が回答しています。このことから、保護者・児童共に、学校行事を楽しむにしていることが分かります。今年度は、創立10周年記念運動会を行い、児童が元気よく活動する姿を見ていただくことができました。来年度も、様々な行事をどのような形で開催すればよいのか、今年度の反省を生かし、児童が主体的に活動する姿を見ていただける学校行事を考えていきます。



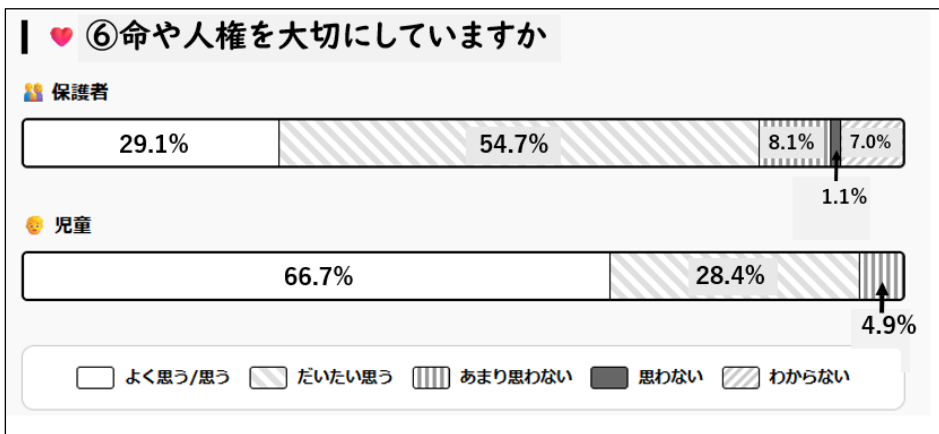
習慣づいていないと回答した児童が18.0%、保護者が32.5%であることや学校での様子から発達段階に応じた支援の充実を図る必要性を感じます。低学年では家庭との連携により宿題をする児童の見守りや声掛けの充実を図ります。また、高学年においては自ら学習を進めることが大切であるため、学級や教科の指導の中で学習の手引きなどを用いて、自立して学ぶことができるよう学習支援を行っていきます。



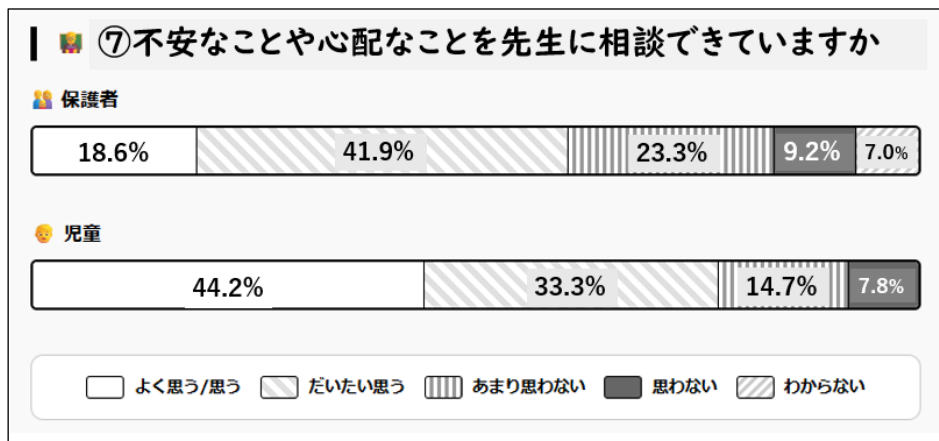
肯定的な回答が保護者は47.7%で、児童は55.0%であることから、読書習慣の確立が課題だと考えます。脳科学では、嫌々する読書よりも、「面白い!」と思って読むことで脳が成長するそうです。図書館支援員や中央図書館との連携により、季節や学習の進度に応じた選書に努めていますが、より児童のニーズを意識した蔵書の確保や、家庭と連携した読書週間の確立など、児童が読書に向かう意欲の向上に努めます。



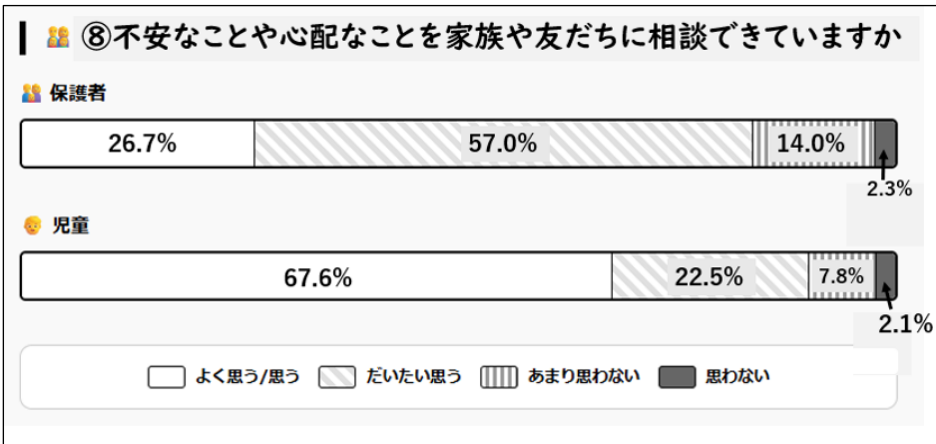
児童の27.4%が「生活習慣が身についていない」と回答しており、アンケートの結果から、特に早寝の習慣が課題であると考えます。保健教育で夜更かしや睡眠不足が学校生活に及ぼす影響を考えさせるなど、今後も生活習慣の大切さについて学習する機会を大切にします。また、学年が上がるほど夜更かしの原因として情報通信機器の利用が考えられることから、学年通信や学級懇談等で家庭との情報共有を一層図り、連携に努めていきます。



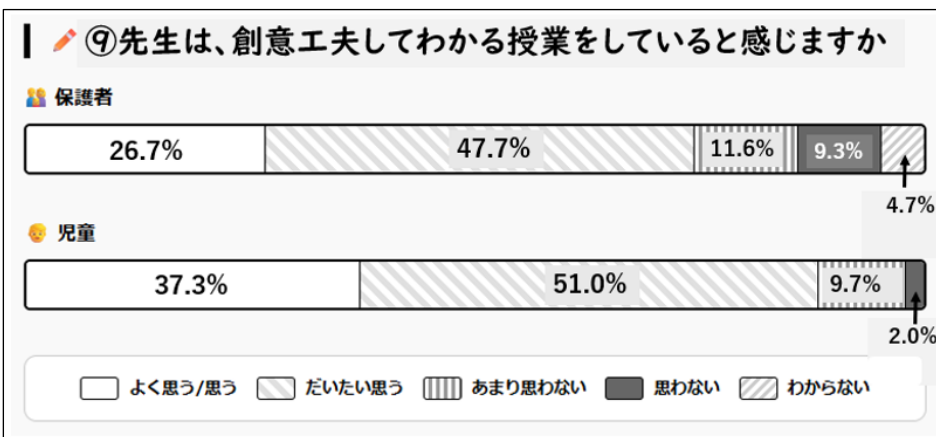
保護者は83.8%、児童は95.1%が肯定的な回答をしていることから、道徳や学級活動を通じて、友だちを大切にしている意識が高まっていることが伺えます。また、より良い友だち関係を構築するに当たり、相手の気持ちを考えさせるよう努めていることが人権意識の高まりにつながっていると考えます。今後も、児童が安心して生活できる環境づくりに努めるとともに、保護者にはその取り組みを積極的に伝え、理解を図っていきます。



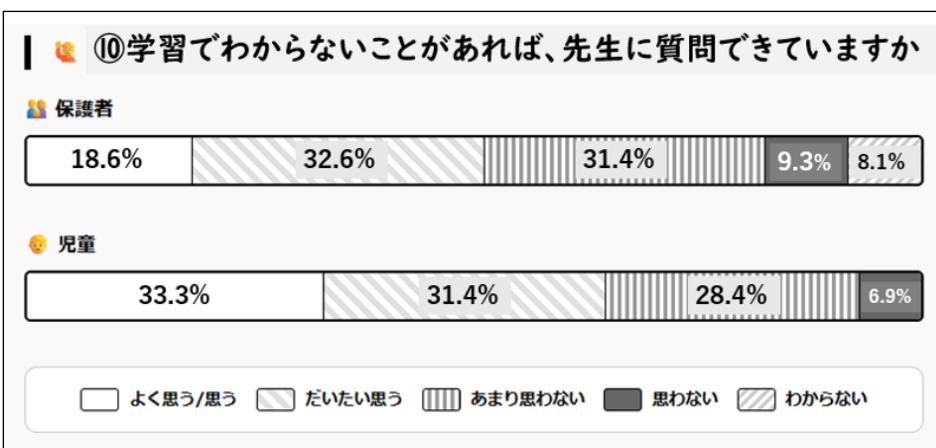
保護者と児童との肯定的な回答に若干の開きがあります。児童の悩みが教職員と話すことで解決されている現状が保護者に伝わっていないことが考えられます。学校から保護者への説明や相談をより大切にしていくよう全教職員で共通理解しました。今後は、「相談できていない」と回答した22.5%の児童が減少するよう全教職員が児童の不安や心配事により敏感になり、相談しやすい雰囲気づくりに努めていきます。



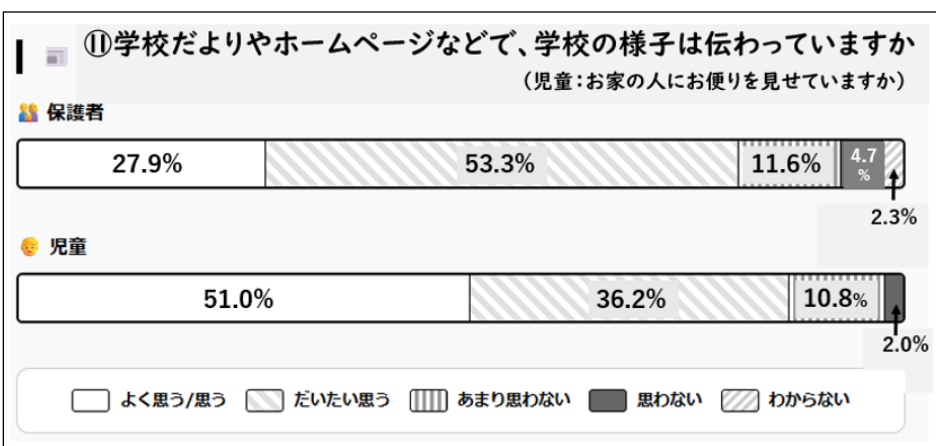
9.9%の児童が困ったときの対応ができていないと考えられます。そのような状況を踏まえ、教職員も相談できる対象として意識してもらえるよう学期ごとの「こども個人懇談」の充実を図ります。さらに、日頃の児童の何気ない様子を気にかかけ支援の充実を図るとともに、保護者との連携につなげます。また、今後も仲間づくりの構築に一層努めることで自分の思いを聞いてもらえる友だちが一人でも増えるよう努めます。



「よく思う・だいたい思う」の回答が保護者では74.4%、児童では88.3%となっています。「あまり思わない・思わない」の回答が保護者では20.9%であるため、今後は一層、児童一人ひとりに合わせた個別最適化な指導を心がけていきます。そのため、教職員全体で、授業中に何を理解させ何を考えさせるか明確にし、基礎基本の徹底や思考力をより一層伸ばす授業づくりを進めます。また、ICTの効果的な活用を考えていきます。



「あまり思わない」「思わない」と回答する保護者が40.7%、児童が35.3%であることから、学習のつまずきへの対応の必要性を感じます。授業ではICTを活用するなど、個に応じた学習支援を進めていますが、さらに、個々の児童の学習の達成状況を確実に把握するよう努めていきます。また、質問できる雰囲気づくりや「質問タイム」を設定するなど、学習環境の工夫を一層図っていきます。



大切な手紙を金曜日に配布するよう取り組んできた成果として、金曜日にお子様の配布物を気にしてくださる家庭が増えていると感じます。さらに金曜日を避けてチラシなどを配布することで、保護者、児童ともに金曜日の配布物の重要性の理解を深めます。また、各学年の月に1度のHPの公開を一層充実させることで児童自身も自ら検索し、学校の教育活動への関心を高めるとともに、広く多紀小学校の活動を発信していきます。